

見えない現場を映像でつなぐ

映像通報システム(Live119)を導入！

厚木市消防本部では、従来の音声による119番通報から、より正確な状況を把握できるよう、10月1日(水)から新たに「映像通報システム(Live119)」を導入しました。

映像通報システム(Live119)は、緊急時に通報者のスマートフォンなどから、現場の映像をリアルタイムで消防に送信できる仕組みで、消防が現場の状況を映像で確認できることから、的確な口頭指導を行えることや、災害現場到着までに正確な状況を把握することで、より迅速かつ的確な消防救急活動につながるサービスです。

主な特徴

- スマートフォンなどから通報時の映像をそのまま送信可能
- 通報者の位置情報も自動取得し、正確な場所の特定が可能
- 応急手当の実施方法の動画を指令員から通報者へ送信可能

利用例

- 火災や交通事故など、緊急性が高い現場からの通報
- 倒れている人の意識の有無や呼吸状態を確認
- 出血やけがの様子を映像で確認し、必要な処置や資機材の判断
- 通報者への応急手当の指導(胸骨圧迫、止血方法など)



Live119 映像通報システム



電話で伝えにくい現場の状況をスマートフォンで撮影することで消防へ伝えることができます。

消防が必要と判断した場合にLive119による撮影を依頼します。

こんな時に利用します

火災・災害



事故・救助



急病・怪我



操作手順

1

Live119を開始する前に、**電話の音声をスピーカー音に切り替えます。**



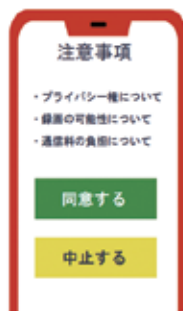
2

消防から受信したショートメッセージを開き、URLへアクセスするとLive119が起動します。



3

撮影前に注意事項を確認し、問題なければ承諾して先へ進みます。



4

マイクやカメラ、位置情報の確認が表示されたら「許可」を押して先へ進みます。



マイク・カメラで「許可しない」を選択するとLive119の利用はできません。

5

スマートフォンを横向きにします。赤色のボタンが表示されたらタップして撮影を開始します。



6

撮影している映像が、消防に送信されます。



注意事項

- 通報者の安全が確保できない場合は利用しません。
- 通報者が操作できない場合は、無理に映像通報をお願いすることはありませんので、そのことを指令員にお伝えください。
- 通信環境などにより映像が送れないなどシステムを利用できない場合があります。
- 通信に伴う通信料などの費用は、通報者の負担となります。

映像での通報にご協力をお願いいたします。